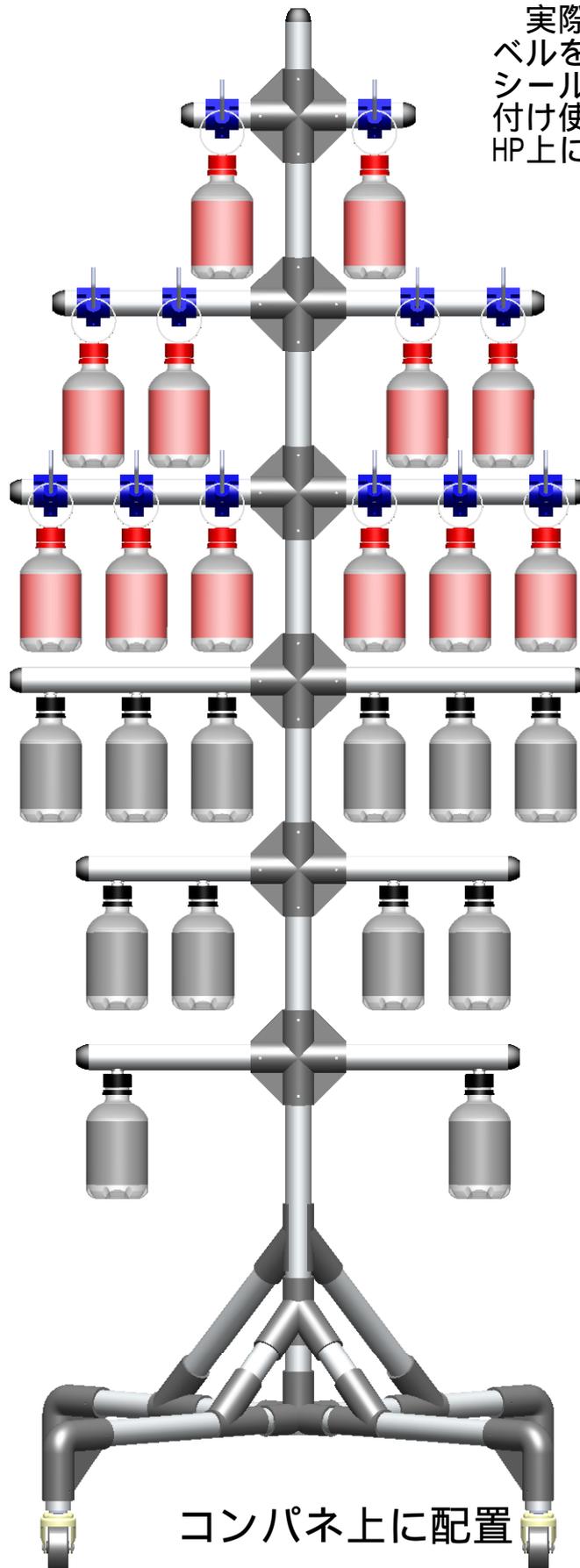


# 竿燈イメージ アイテム取付状態 (正面図)

実際の競技では、初期のラベルを剥がし、正面にタックシールに印刷したものを貼り付け使用します。絵柄は後日HP上にUPします。



コンパネ上に配置

# 竿燈イメージ アイテム取付状態 (側面図)

p - 2 1

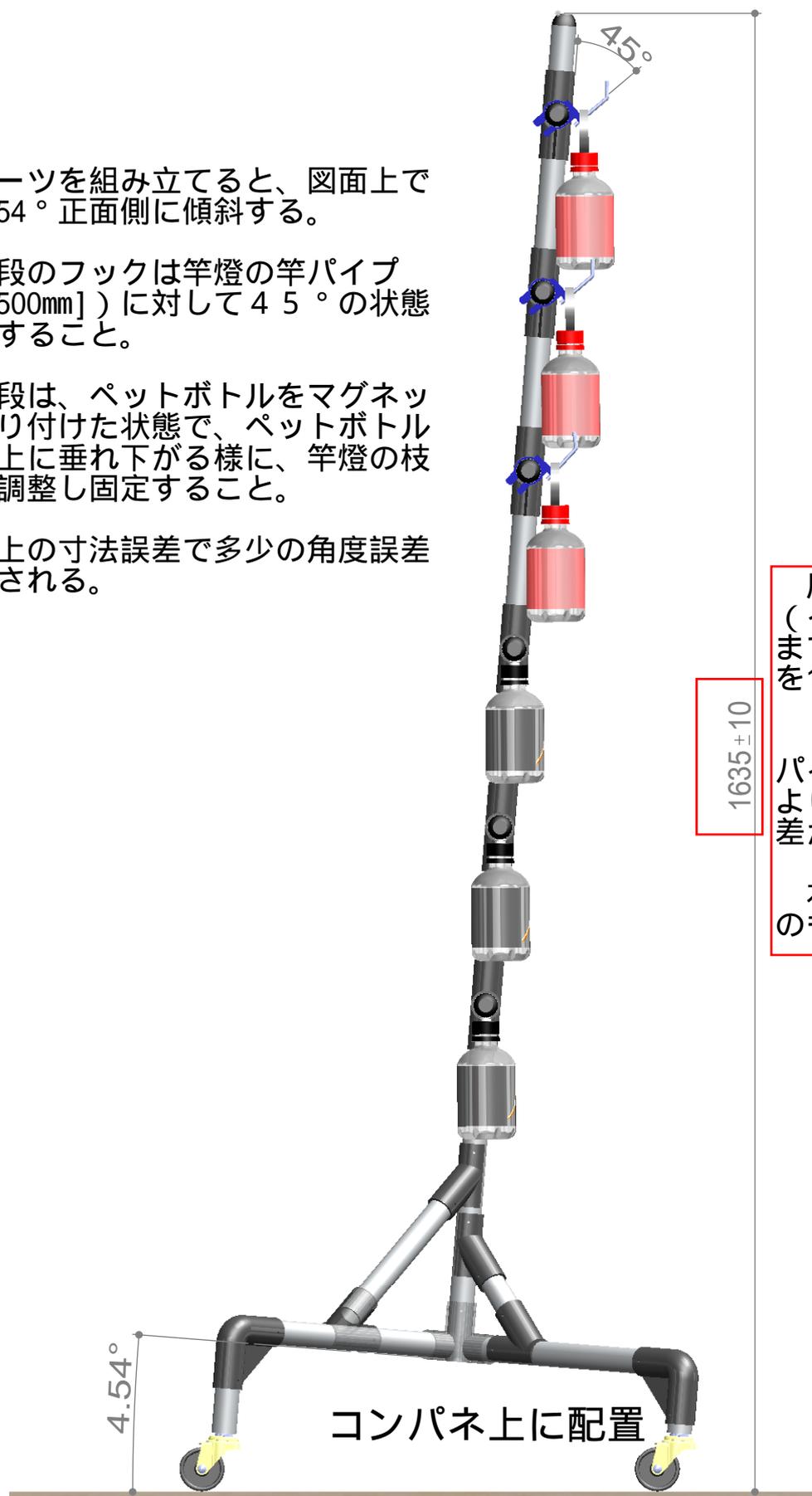
5/17  
追加変更

各パーツを組み立てると、図面上では約 $4.54^\circ$ 正面側に傾斜する。

上3段のフックは竿燈の竿パイプ( [1500mm] )に対して $45^\circ$ の状態  
で固定すること。

下3段は、ペットボトルをマグネットに取り付けた状態で、ペットボトルが鉛直上に垂れ下がる様に、竿燈の枝の角度調整し固定すること。

製作上の寸法誤差で多少の角度誤差が予想される。



床より竿燈最上部  
(インナーキャップ)  
までの高さ(図参照)  
を1635mmとする。

ジョイントの精度、  
パイプの加工精度等により、  
製作上の寸法誤差が生じる。

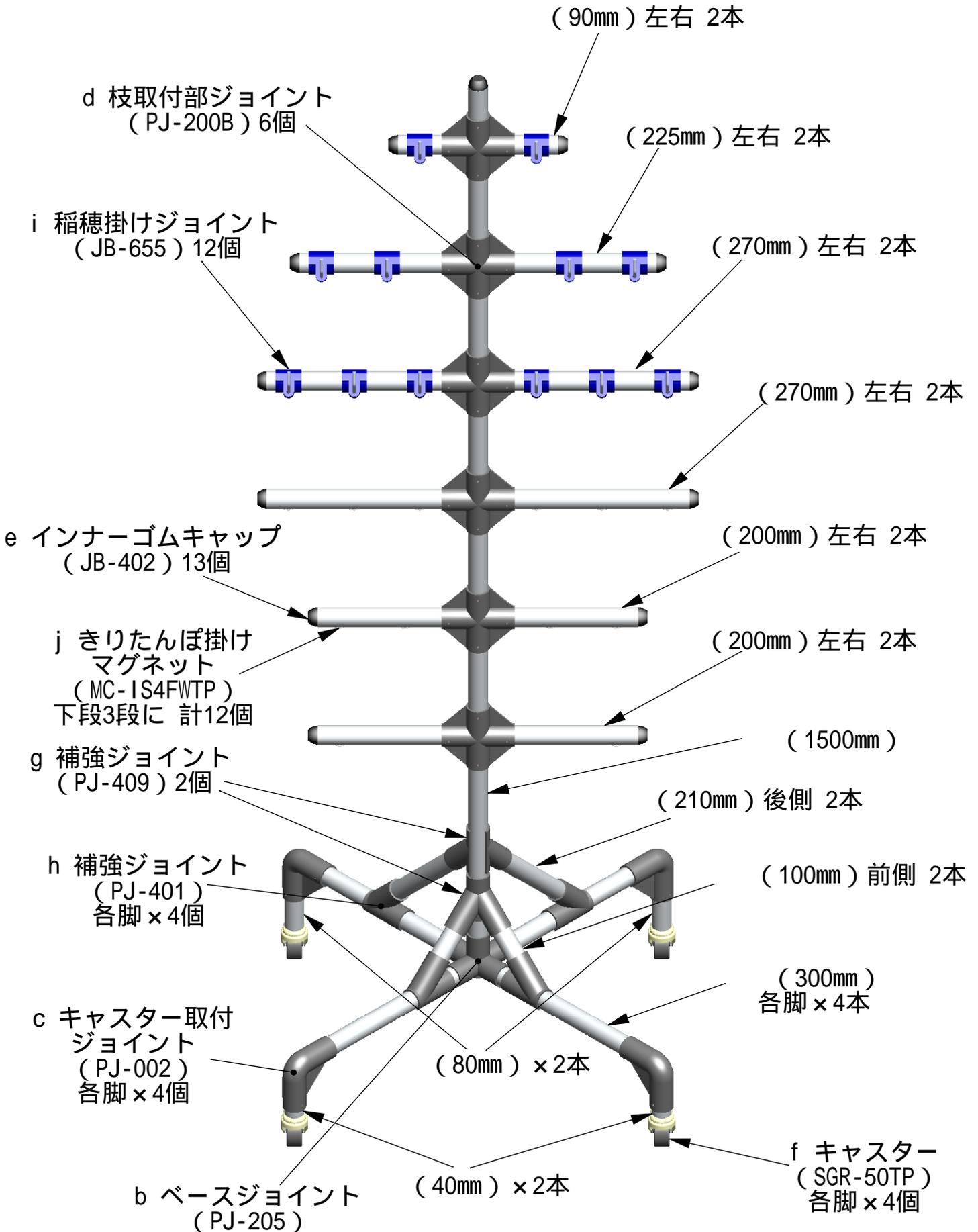
本大会では精度 $\pm 10\text{mm}$   
のものを使用する。

1635 $\pm$ 10

コンパネ上に配置

# 竿燈組立図詳細 (正面図)

i (JB-655)は表示上、色付けをしていますが、実際のものは(白色)である。

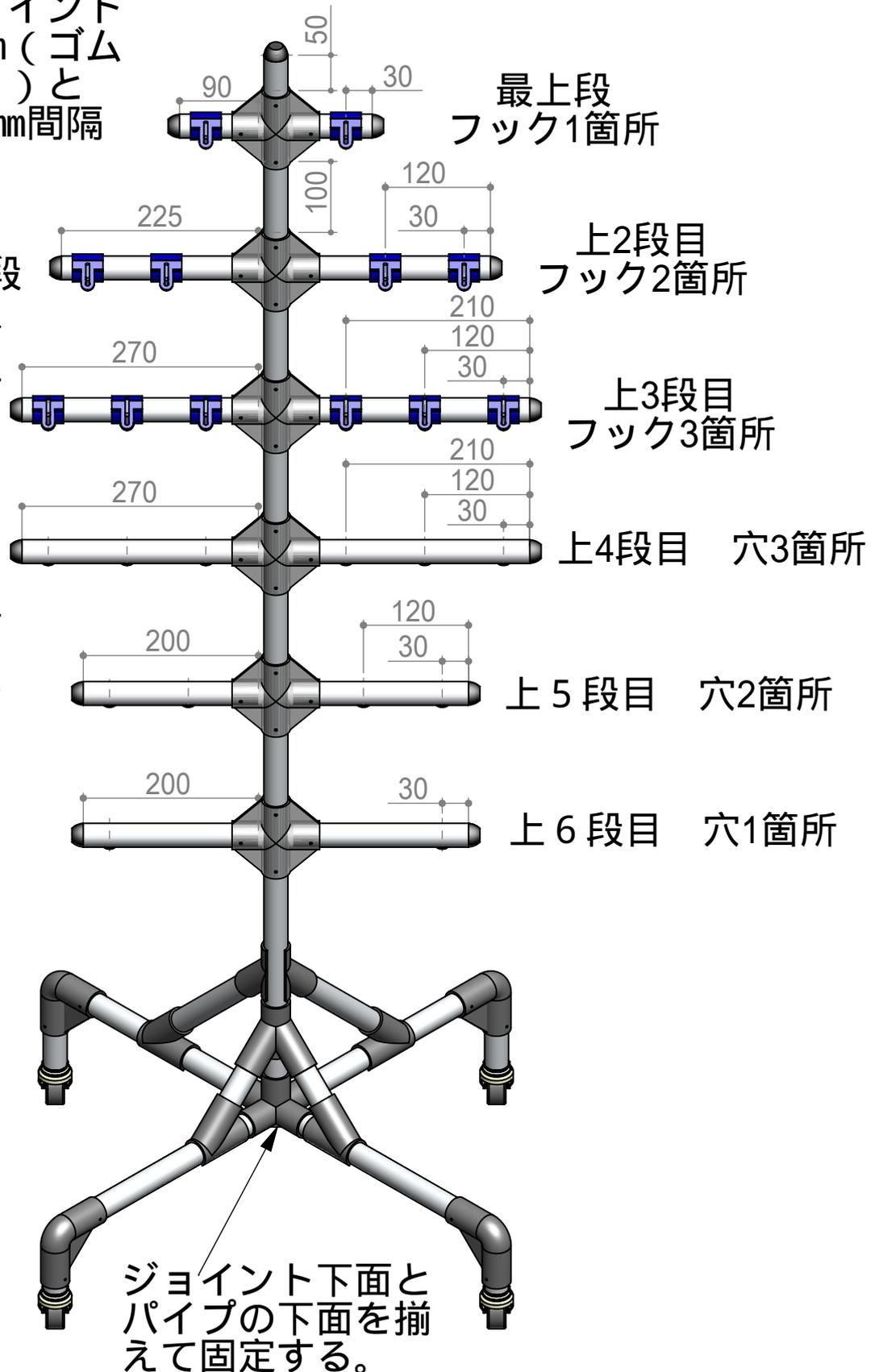


# 竿燈マグネット・フック位置詳細図 (正面図)

枝取付用ジョイントは上面から50mm (ゴムキャップを除く) とし、以下は100mm間隔で固定する。

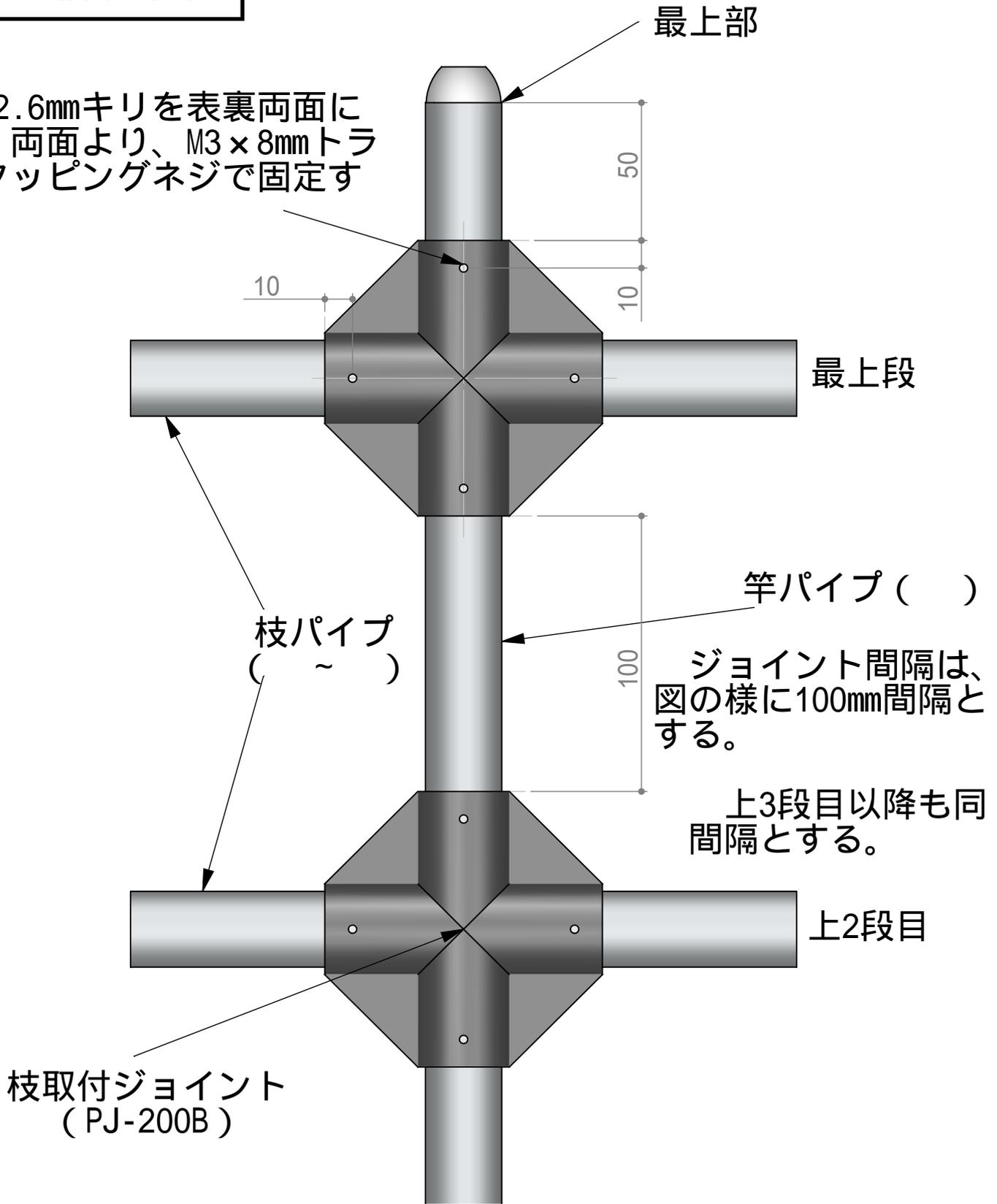
枝部パイプ上3段は所定の寸法位置がフック中心部になるように取り付け。

また、上から4、5、6段は所定の寸法位置にマグネット取り付け穴加工をする。



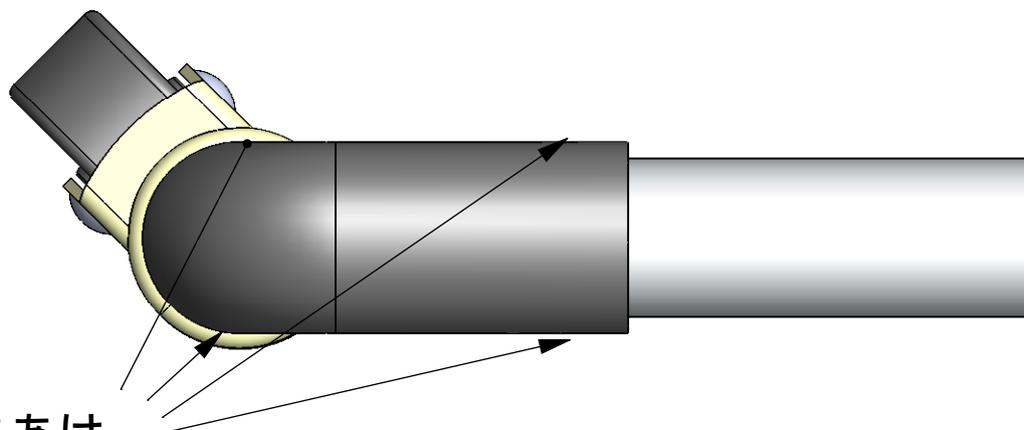
# 枝取付部 加工詳細図

4×2.6mmキリを表裏両面に  
あけ、両面より、M3×8mmトラ  
ス頭タッピングネジで固定す  
る。



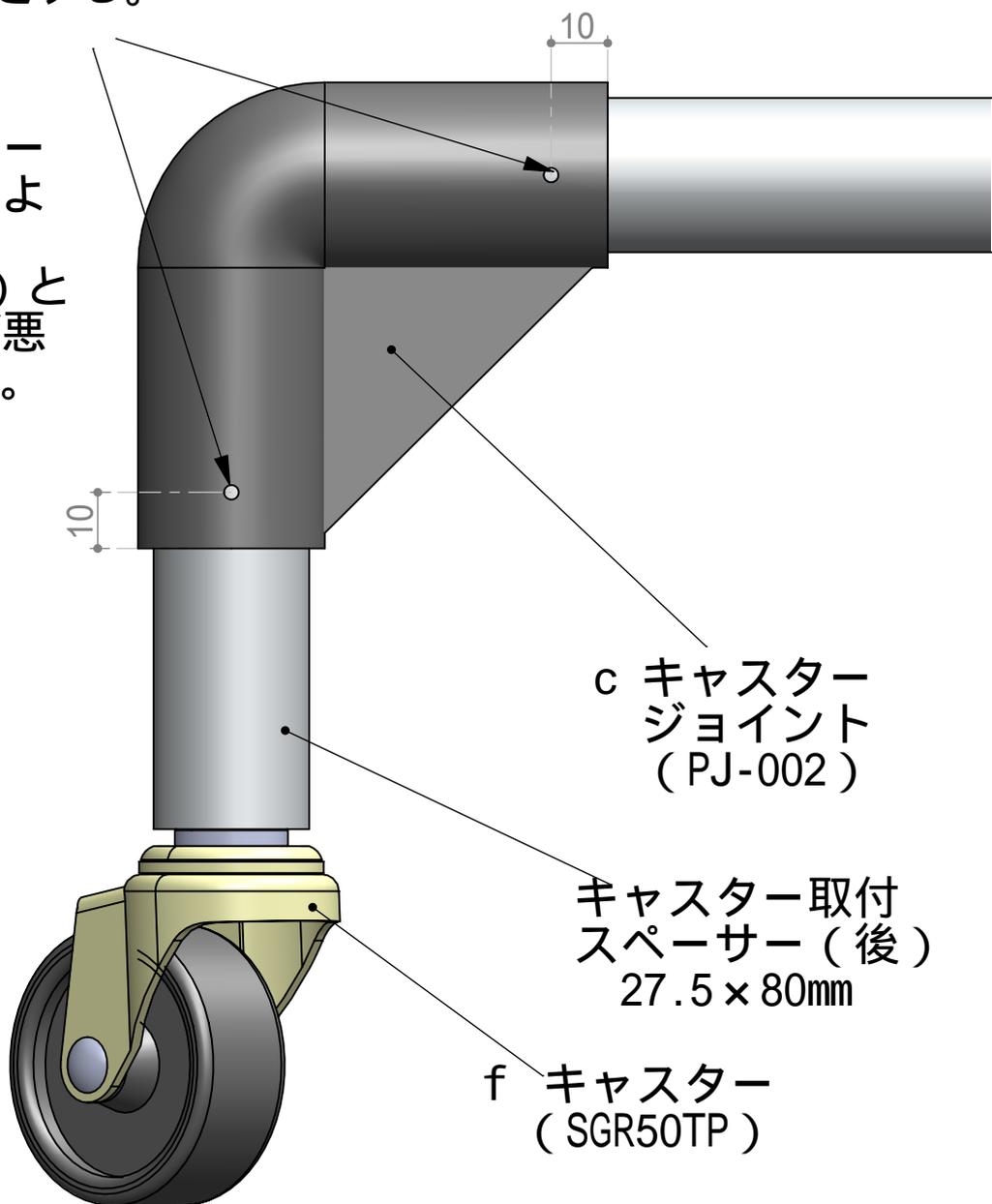
その他のジョイント部もパイプが回転しな様、  
同様に固定する。

# キャスター取付部 加工詳細図



2.6mmキリ（両面）をあけ、  
左右方向より、M3×8mmトラス  
頭タッピングネジで固定する。

注 キャスター取付スペー  
サが、床と鉛直になるよ  
うに固定する。  
脚パイプ（300mm）と  
垂直にすると安定性が悪  
く転倒する恐れがある。



c キャスター  
ジョイント  
(PJ-002)

キャスター取付  
スペーサー（後）  
27.5×80mm

f キャスター  
(SGR50TP)

# 稲穂・きりたんぼ 枝部マグネット 取付加工詳細図

竿燈  
マグネット取付  
完成イメージ

竿燈枝部パイプ



11.5mm穴加工後  
MC-IS4FWTPを押し込む。

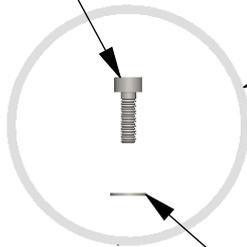


スガツネ  
MC-IS4FWTP  
マグネット本体

M3×10  
キャップスクリュー



稲穂完成  
イメージ



48×10リング  
(塩ビパイプVU40を10mmに切断し  
中央に3mmの穴加工をする。)

M3×10皿ネジ

スガツネ  
MC-IS4FWTP  
付属ワッシャー  
ペットボトルキャップ  
(3mm穴加工)



きりたんぼ  
完成イメージ

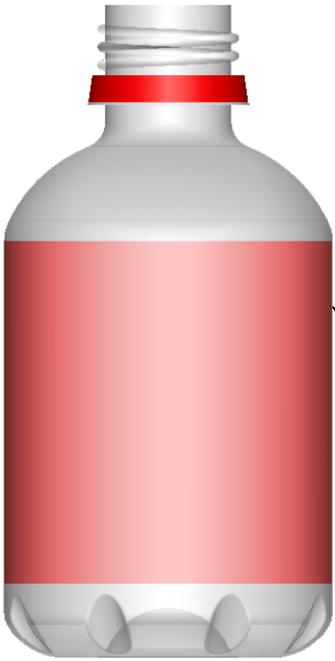


実際の競技では、  
各ラベルを剥がし、  
「稲穂」「きりたん  
ぼ」を印字したタック  
シールを貼り付ける。

M3ワッシャー

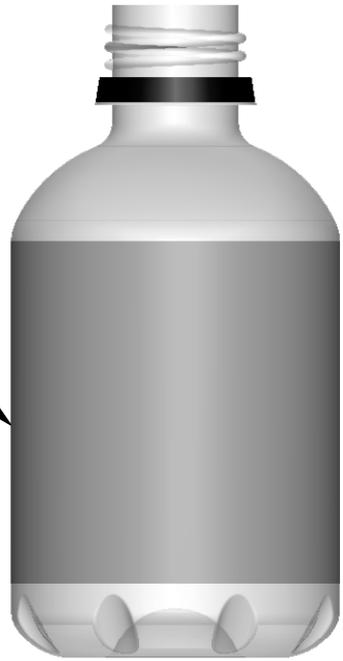
M3スプリング  
ワッシャー

M3ナット



コカコーラZERO  
280mLペットボトル

コカコーラ280mL  
ペットボトル



上図の順に各パーツを締め付け固定する。

図1 「稲穂」配置イメージ

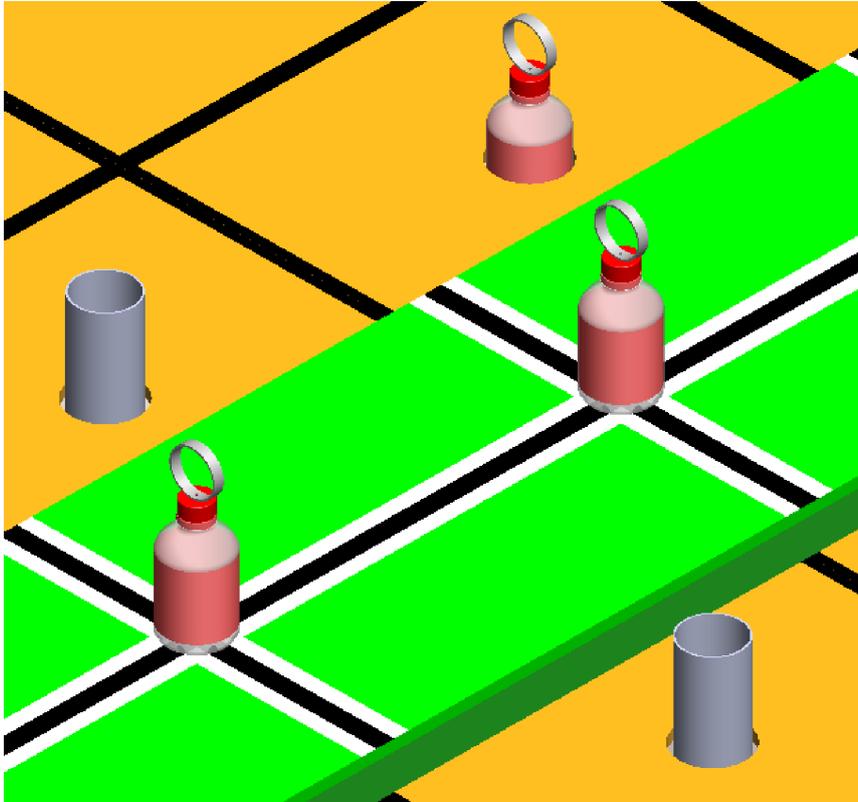
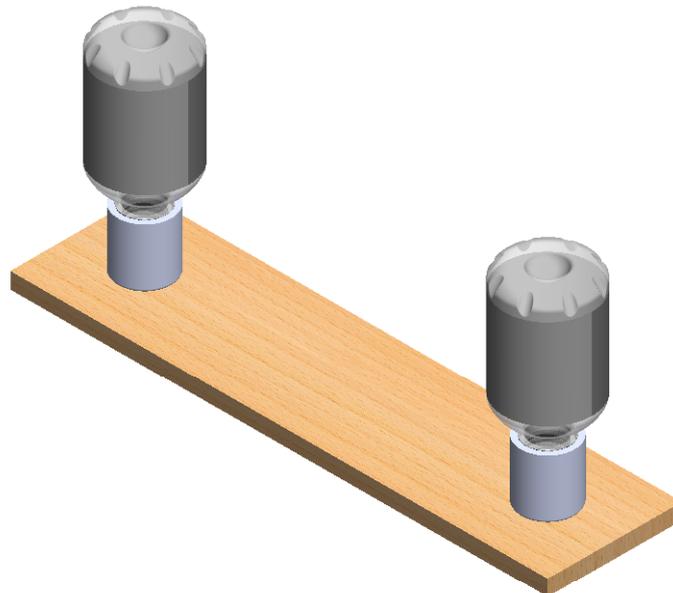


図2 「きりたんぼ」配置イメージ



- ・「稲穂」は所定の位置に加工リング部が上向き、かつ右側面にリングの輪が向くように設置する。(図1参照)
- ・「きりたんぼ」はエンビキャップ部にペットボトルのキャップを差し込むように設置する。(図2参照)